

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	山口公民館主催事業	所管	教育委員会教育総務部 山口公民館
			Tel 2924-1224

事業の目的 (何の為に 行うか)	市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際に生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	8,294	人

活動の内容	(何を したか)	①職員による事業の企画・立案あるいは市民を交えた企画準備会又は実行委員会により、事業の企画・立案、運営方法等を検討する。 ②生涯学習情報紙及び公民館だより、チラシ等を活用して参加者を募集する。 ③事業終了後は、学習の記録や参加者の意見、感想等を取りまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。							
		活動実績	項目名 主催事業数	218 ----- 単位 件	項目名 事業参加者に対する5段階評価アンケートの実施	185 ----- 単位 件	項目名 アンケート結果の分析	151 ----- 単位 件	

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	1,805	2,075	12,408	36.6

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	参加者の満足度割合	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100	90 ----- 単位 %	81.62162162 ----- 単位 %	90.7 ----- 単位 %

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
	終了 ⇒ 事業完了 終了 休止					
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	事業コード	担当	部課コード	120710	16	2924-1224
120717	山口公民館主催事業	教育委員会教育総務部 山口公民館	グループ	山口公民館		
開始年度 昭和 22 年度 → 終了年度 平成 年度						

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
	分野別計画・指針	第3次所沢市生涯学習推進計画	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則
	関連・類似事業	文化活動支援事業(社会教育課)、家庭教育推進事業(社会教育課)	
	総合計画の体系	政策 第4章 いきいきと学び 文化をはぐくむまち	施策 4節 社会教育
		中柱 1人と地域をはぐくむ社会教育の推進	小柱 (3)地域とともにあゆむ公民館活動の充実
		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 29 位	
		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	コード 1221 地域コミュニティの拠点整備	
	事業開始の背景	昭和24年に社会教育法が制定され、この中で公民館においては、その設置目的達成のため、実際生活に即する教育・学術及び文化に関する各種事業を行うこととされている。	

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	利用数の考え方
	市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施する。	公民館主催講座の受講者数
	対象(誰を、何を対象としているのか)	市民
	対象数	単位
	平成 18 年度	337,883 人
	平成 19 年度	339,058 人
	利用数	単位
	平成 18 年度	7,361 人
	平成 19 年度	8,294 人
	事業の具体的な内容及び実施方法	
	①職員による事業の企画・立案あるいは市民を交えた企画準備会又は実行委員会により、事業の企画・立案、運営方法を検討する。	
	②生涯学習情報紙及び公民館だより、チラシ等を活用して参加者を募集する。	
	③事業終了後は、学習の記録や参加者の意見、感想等を取りまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。	

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 <input type="checkbox"/>
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	平成19年度中に改善した点	
	昨年度からの継続として、現代的課題に対応する学習の推進を図り、特に地域の安全とコミュニティ、地域の環境保全のための学習、人権尊重の学習、子育てをみんんで支えるための学習に取り組んだ。	

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		2,657	1,805	1,967
	決算 (見込み含む)		1,870	2,075	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(0.50 人) (0.05 人)	(0.57 人) (0.05 人)		
	正規職員人件費	1.05 人	9,660	1.10 人	10,333
	公債費				
	事業費合計		11,530	12,408	
	財源内訳	一般財源	11,370	12,253	1,817
		国・県支出金			
		受益者負担金	160	155	150
		市債			
		その他			
	市民一人当たり(単位:円)		34.1	36.6	
	利用数一単位あたり(単位:円)		1,566.4	1,496.1	

⑥指	活動実績	主催事業数	年間事業数	件	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
		事業参加者に対する5段階評価アンケートの実施	アンケート回答件数	件	183	218	200	
		アンケート結果の分析	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数	件		185	190	
						151	150	
標	成果分析	参加者の満足度割合	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100	%	目標値	80	90	90
				%	実績	81.6		
				%	達成率	90.7		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input checked="" type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし	市	見直しの必要性
				<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無
		<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		見直しの必要性
				<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	ほとんどの講座が満足度80%以上を達成しているが、個別に調べると環境の講座などで期待度が高い反面、満足度では62%とやや低い結果となったものもある。講座に対する要求も高くなってきており、市民の期待に応えられるよう、内容の充実を図ってきたい。		
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	講座に対する満足度の向上	講座に対する満足度について、さらに向上に努める。90%の達成	平成21年3月
		講座に対する満足度調査の実施	アンケート実施可能なすべての事業について、満足度を調査する。全事業の75%で調査。	平成21年3月
	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	評価理由	少子高齢化に伴う地域の課題や環境問題、青少年問題等、地域全体で考えて考えていかなければならない問題について、地域住民の要求と課題に対応した講座の充実を図っていく必要がある。		
	評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	館長 相田 肇

⑧二次評価	一次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由							
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
			市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
								C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	412
	施策の体系	4-1環境教育・環境学習の推進	施策の方向	4-1-2学習の場や機会の提供
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
	施策の方向			